

3.指導体制、方法、環境に関するご意見やご要望

所属	ご意見・ご要望	回答作成の依頼先	回答
地域文化研究科	指導教官と主査の意見の食い違いに悩んでいる。様々な研究の視点があると思うが、指導教官の元で学ぶ以上、意見の食い違いをなくしてほしい。	地域文化研究科	まずは、具体的な内容がわからないため直接的な回答にはならないことをご理解ください。 その上で、研究活動では、同じものを対象としていても、意見の相違が生じることはよくあります。ただし、ご自身の指導に関係する教員間で意見の相違があると、当事者としては困惑してしまうと思います。 研究科としては、アンケートで出された他の意見とともに、この意見も共有した上で、所属教員に対して、複数で大学院生を指導する際に緊密なコミュニケーションをとるように周知します。
地域文化研究科	即実践的な内容より、まずは良い論文の解釈を行う事から始めると、効率が良いと思った。	地域文化研究科	研究科には、研究科および専攻・領域ごとに「教育目的」があり、この目的を実現するために専攻・領域で「カリキュラム・ポリシー」が定められ、このポリシーに則って開講科目が設定されています。したがって、科目によっては、「カリキュラム・ポリシー」との関連で「実践的な内容」を教授する必要がある科目も存在します。

6.その他、ご意見やご要望（時間数、科目の種類など）

所属	ご意見・ご要望	回答作成の依頼先	回答
地域文化研究科	前期後期で、科目数のバランスを取ってほしい。 働いていると、夏期集中講義がとてありがたいので、もう少し科目数を増やしてほしい。	地域文化研究科	時間割作成にあたっては、大学院生が所属する専攻・領域の科目の履修に困難の生じないように配慮していますが、担当者の都合等によって、前後期の開講科目数にアンバランスが生じることがあります。また、集中講義については、専攻によって大学院学則別表で対象となる科目が指定されているほか、本学大学院開講科目の編成方針で、各専攻で開講可能な科目数に上限があることを理解してください。
地域文化研究科	受講できる授業の数が限られているので、時間割登録の際に授業の時間が被らないように設定してほしいです。受けたい授業がダブったとき、自分一人の都合で先生方やほかの学生に時間割調整のお願いをするのが申し訳ないので、事前に調整してもらえるとありがたいです。	地域文化研究科	時間割作成にあたっては、大学院生が所属する専攻・領域の科目の履修に困難の生じないように配慮していますが、担当者の都合等によって、時間割の重複が生じる可能性もあります。次年度の時間割編成において、こうした事態が出来るだけ生じないように、周知したいと思います。
地域文化研究科	院生一同に会した、講義等があってもいいのでは。せっかくなので交流もしたい。	地域文化研究科	当研究科で開講する科目は、「教育目的」および「カリキュラム・ポリシー」を実現するために、「大学院学則」で定められており、すべての専攻の大学院生を対象とする科目については、現状では設定する必要性を感じておりません。 講義ではありませんが、修士論文中間発表や最終報告は、全専攻が一堂に会する機会ですので、こうした機会を利用して、大学院生相互の交流を図ってください。